

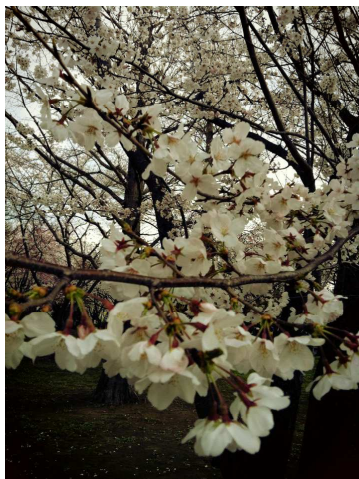
『健康都市宣言』の街きみつ。

つばき日本



三月の活動報告

- 3/1 被災地応援サミットに参加
- 3/9 K-1MAX日本王者佐藤嘉洋選手と対談。
- 3/22 第4回東北復興支援ボランティア
- 3/30 在君津市被災者ボランティア



●すぐ近所の河津桜 三月の第三週

河津桜はちょっと遅れて満開になりました。
もうすぐ春ですね♪ソメイヨシノが待ち遠しいです。



- K-1MAX日本王者佐藤嘉洋
- ・選手としての体調管理
- ・私との闘い(後楽園ホール)の裏話秘話
- ・佐藤選手が経営する治療院の話

彼とのお話で佐藤選手の強さ、攻撃の正確さの秘密が徐々にわかってきた気がしました。練習だけ頑張るのではなくプライベートも、関係無いようにみえるところまでもきちんとこなす。コンディショニングも日ごろのクセにする。そこまでやって初めて『全力を尽くす』なのだと彼はいう。その人柄の良さや強さを認識でき、君津地区のボランティアネットワークの幹事としても改めてつながりが持てたことを喜ばしく感じました。今後の復興支援のほうで佐藤嘉洋のその大きな力を貸してもらえればと思います。

●東北復興支援ボランティア(岩手県)
東日本大震災より一年が過ぎた今、被災地岩手県の復興の現状を自分なりに受け止めたうえで今後の支援を考えていかねばならないという新たな思いで今年も東北ボランティアをスタート。

整体ボランティアの中で患者さんから色々なお話を聞くことができました。

仕事がなくなり暇になってしまったこと、船や道具の不足でワカメ、アワビの仕事も男性優先になり女性は働きにくくなったこと、震災後から仕事の状況が変わり息子さんが引きこもりになってしまったこと等、皆さんの状況はまだまだ大変厳しいものがあるためメンタルのケアの必要性も痛感しました。

宮古ではなんと「水道のお水」がとっても美味しく、ミネラルウォーターは不要のようです。

現場で皆さんと触れ合うことにより岩手沿岸部の今いまを、私なりにではありますが直接目と心で感じてくることができました。



←昔の院長(笑)

- 被災地応援サミット
- 木党から始まった釜石応援サミット
- ・唐丹地区の村長さんの講話
- 日本一早く高台への住居移転を成功！
- 地域の団結を最重要だと述べた。
- ・釜石シーウェイブス仲上太一さんの講話
- プロ選手らと沿岸のボランティアを遂行。
- 海外選手も含め全員で活動していたため、ラグビーは5月まで出来なかったという。
- 一年経過しての被災地の蓄積疲労を指摘。
- 釜石高校の校歌斉唱。
- 故郷を想う唄で会場はひとつに。
- サプライズでラグビー松尾雄二さん、宝来館の女将さんのメッセージビデオが！
- 関東からでも被災地応援はできるんです(^_^)

